

野洲川MIZBEステーション 要求水準書の考え方について

2. エリア別の整備内容

1. 水防センター

方針

さまざまな人・団体等が集う活動の拠点、非常時には水防拠点としての役割を担う、MIZBEの学びの拠点施設



【利用イメージ】

野洲川MIZBEステーションの主要施設。交流や学びの場として賑わいを創出するとともに、水防時の活動拠点や備蓄機能を担う。

【設計施工における要求水準ポイント】

- 本ステーションの拠点施設としてデザイン性のある外観
- 地域活動など様々な利用目的に対応するフレキシブルな構造

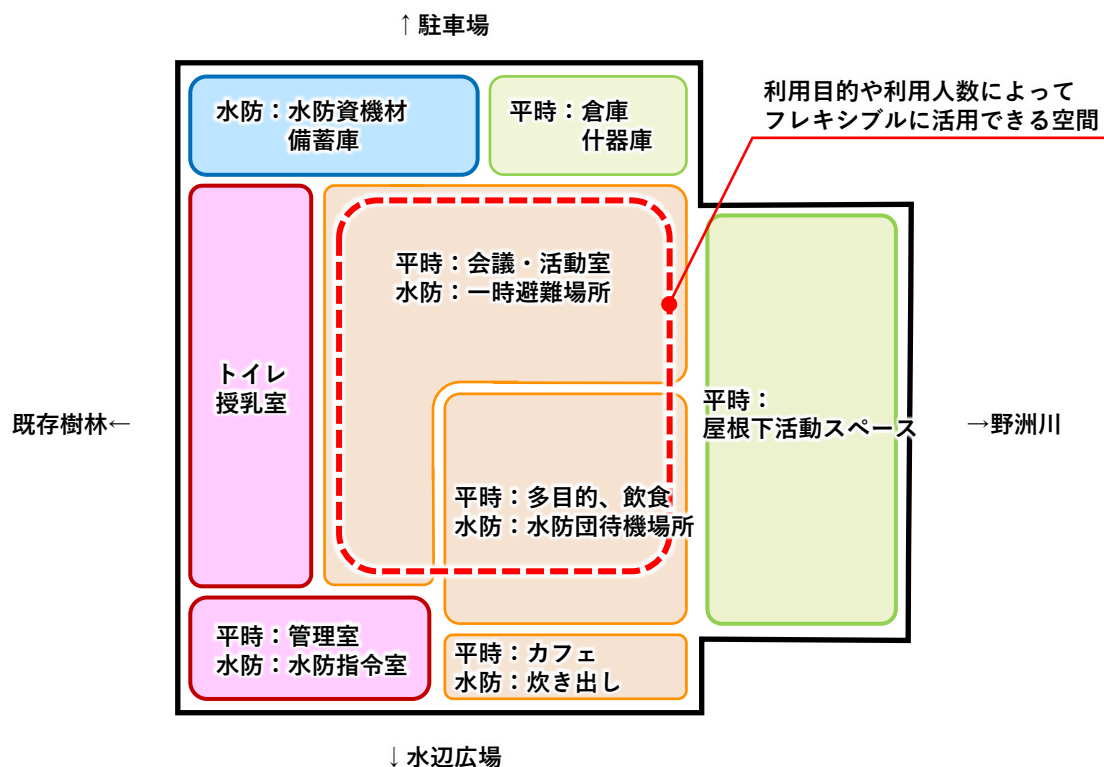
【フロア構成案】

室・機能名		規模感	平常時の利用用途
災害時	平常時		
水防司令室	常駐管理室	20.0㎡	MIZBEステーション全体の管理、受付、インフォメーションなど
水防資機材	—	15.0㎡	
備蓄庫	—	35.0㎡	
水防団待機室	多目的・飲食スペース	80.0㎡	MIZBEステーション利用者が自由に集えるスペース。地域の活動やイベントの会場、持ち込みを含む飲食の場
一時避難場所	会議室・活動室	120.0㎡	貸会議室。可動式壁を採用するなどして、様々な用途に対応する
炊き出し	カフェスペース	10.0~30.0㎡程度	テイクアウト形式
男性トイレ	男性トイレ	17.0㎡	
多目的トイレ	多目的トイレ	10.0㎡	
女性トイレ	女性トイレ	17.0㎡	
授乳室	授乳室	7.0㎡	
—	倉庫	24.0㎡	芝刈り機や掃除用具、テントなどのイベント用品等を収納
—	什器倉庫	20.0㎡	室内用の長机やイスを収納
—	屋根下活動スペース	130.0㎡	「多目的・飲食スペース」との一体利用や雨天時の一時避難場所として利用。小中学校2クラス分程度の人数が利用できる広さを確保

2. エリア別の整備内容

1. 水防センター

フロアレイアウト (イメージ)



■ 諸室の条件

- 学校行事などにも対応した、100人程度の規模の広い室内スペース
- 広い空間を必要に応じて仕切ったり屋外と一体的に使ったりと柔軟につかえるフロア構成
- 外からも利用でき、他のエリア利用者も使えるトイレ
- 授乳スペースやおむつ替えスペースがある
- 屋外活動等の際に活用できる手洗い足洗機能を外構部に整備
- 自由に使えるWi-Fiがある
- 飲食機能がある
- 水防団待機室として75㎡確保

■ 備品 (一例)

- テーブル、椅子が十分にある
- プロジェクター、スクリーン、マイクがある
- 放送設備や緊急気象情報の表示板がある
- デザインされたサイン計画



■ 外観デザイン例

左写真: 千葉公園情報センター (千葉県千葉市)
右写真: 学びの里「めいりん」 (福井県大野市)

2. エリア別の整備内容

3. 全天候型アーバンスポーツエリア

方針

アーバンスポーツを中心にスポーツに親しみ学ぶと共に、全天候型の広場を活かしたイベント等の賑わい・学び・交流を通して学ぶ



エリア拡大図



【利用イメージ】

- 大屋根がある全天候型広場
- スケートボードや3×3バスケットなどのスポーツが日常的に楽しめる
- 天候に左右されされないイベントの開催

【設計施工における要求水準ポイント】

- スポーツ設備は移動式のものとする
- 大屋根は雨や雪を防ぎつつ、自然光を取り込める構造とする
- 水辺広場との間に歩行者通路を設け、安全に利用できる導線確保する

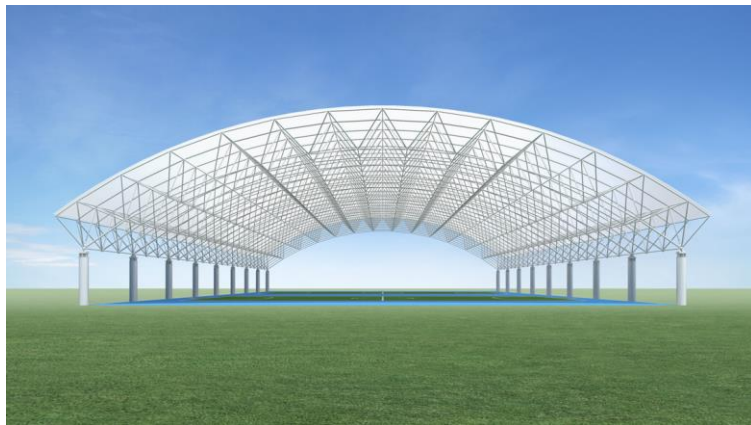
【整備内容】

- 大屋根
- アスファルト舗装
- スケートボードセクション
- バスケットボールコート
- 管理棟
- 外周フェンス
- 歩行者通路

2. エリア別の整備内容

3. 全天候型アーバンスポーツエリア

施設イメージ



大屋根イメージ 太陽工業 (株) イメージ図

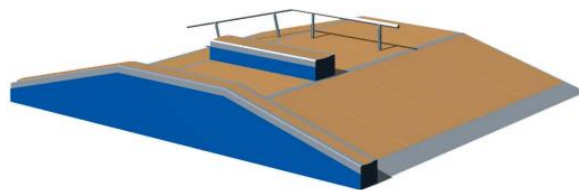


(株) ルイ高 製品カタログ
バスケットゴール (移動式)

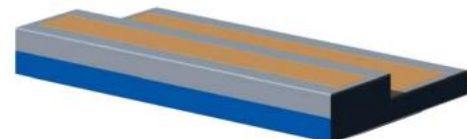
スケートボード
セクション (例)



フラットレール



バンクtoバンク複合



マニュアルパッド



クォーターランプ



バンク

(株) 都村製作所 製品カタログ

2. エリア別の整備内容

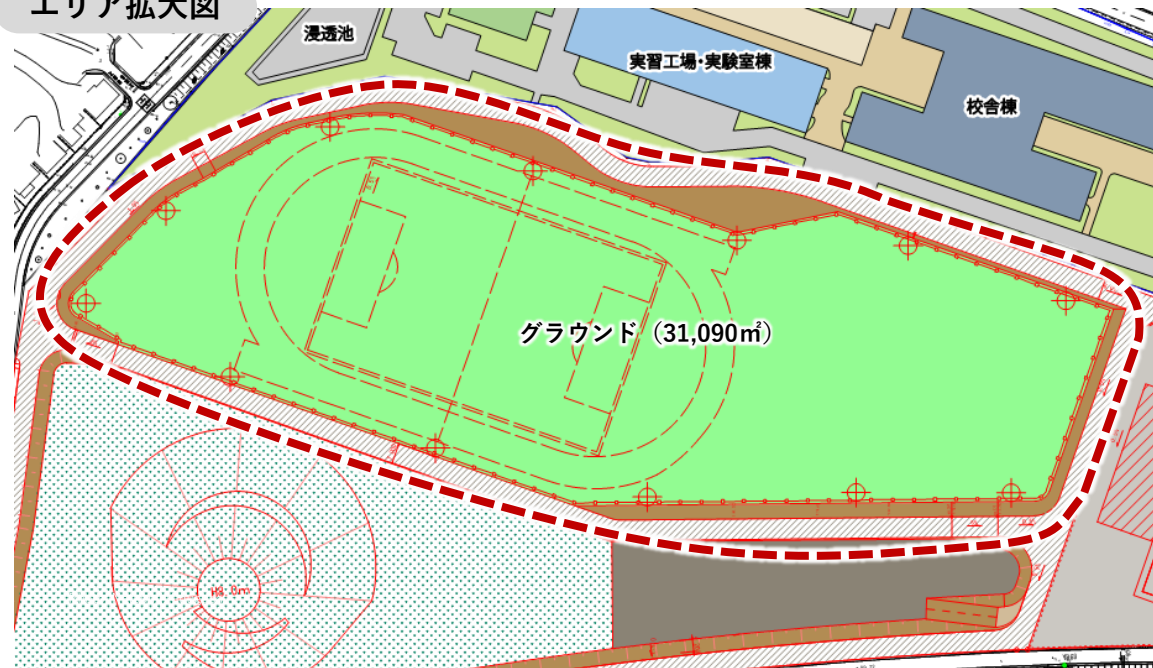
4. スポーツ・賑わい・グラウンドエリア

方針

広々としたグラウンドを活かし、
様々なスポーツに親しみ学ぶと共に、
広いフィールドを活かしたイベント
等の賑わい・交流を通して学ぶ



エリア拡大図



【利用イメージ】

- 400mトラックとフットサルコート4面分程度の広さを有するグラウンド
- 照明を整備し、夜間の利用も可能とする
- 高専の体育授業でも利用する

【設計施工における要求水準ポイント】

- グラウンド全面を芝生とする（備蓄土砂として利用するため、アスファルト舗装や排水施設は整備しない）
- 照明は近隣住宅地に対する光害対策をおこなう
- サッカー等の球技にも利用できるよう外周フェンスを設ける

【整備内容】

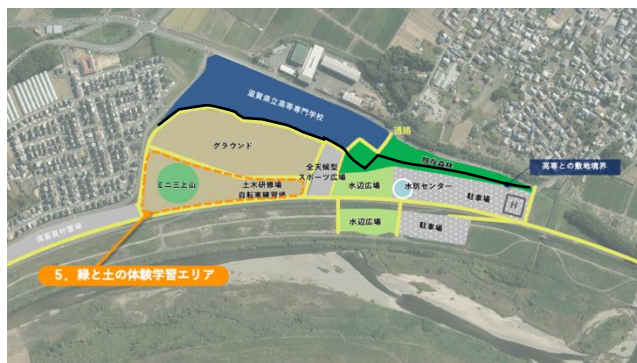
- 張芝
- 照明灯
- 外周フェンス

2. エリア別の整備内容

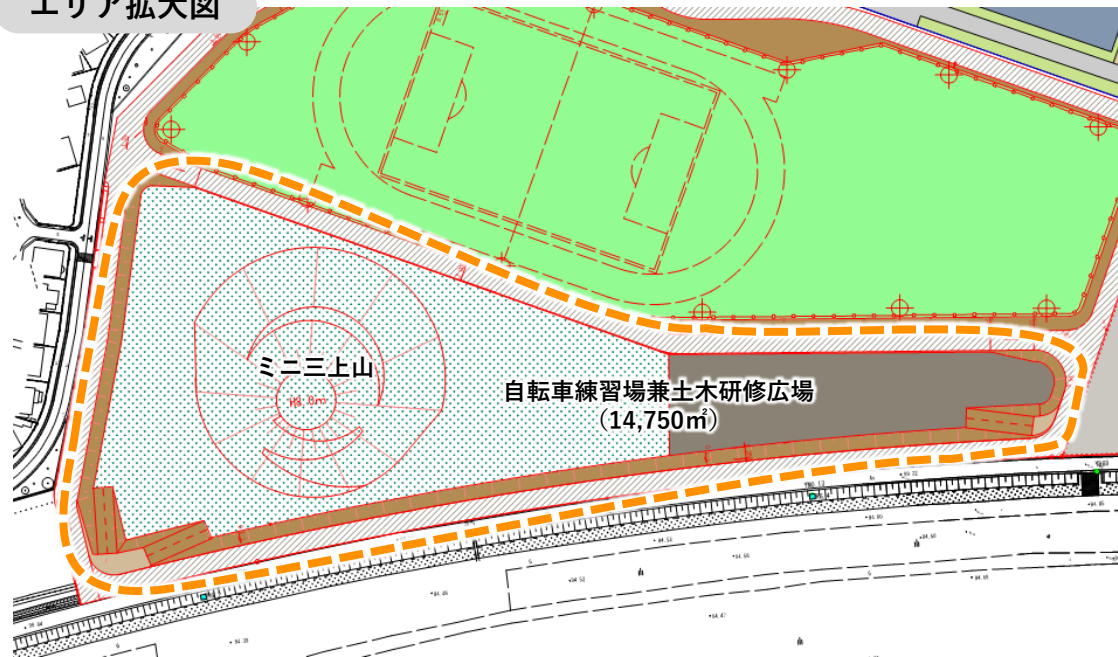
5. 緑と土の体験学習エリア

方針

土取場を活かし、ミニ三上山や土木研修場、スポーツ広場を使い、自然や防災について体験型で学ぶ



エリア拡大図



【利用イメージ】

ミニ三上山

自転車練習場兼土木研修場

既存のミニ三上山を再現したもの。登頂すると野洲川の景観を眺望できる
広い空間で自由に走り回れる広場。自転車練習や、イベント活用など自由に利用できる
備蓄土砂を活用した、重機類の操縦研修にも利用

【設計施工における要求水準ポイント】

- ミニ三上山の周辺を地被植物播種とする（ミニ三上山は国交省による造成及び張芝実施）
- エリア右側は、未舗装のままとする（国交省による造成のみ）

【整備内容】 ・ 地被植物播種